

科目名 Course Name	カラーコーディネート I Color Coordination			ナンバリング No.	C3-001		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	飯塚 晃代						
連絡先(質問等)	C-Learning に対応。または栄養棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3						
授業の概要と到達目標	色彩の基本的理論を学び、ビジネス社会や生活で役立つ配色を考え、活かせるようにする。 ①色彩の基礎、配色調和、色とイメージ、②商品の色、暮らしに役立つ配色 ③美容・ファッション・食事 ④コミュニケーションを作る色、日本の色 ⑤色彩心理 ⑥色彩について、知識とセンスを身につけ、感性を高める。色彩検定 3 級取得を目指す。						
授業の方法	テキストと配色カードで基本を理解し、資料と色彩運用技術で色彩実務のスキルアップを図る。その都度、課題やカラー提案・調査など、レポート提出により、色彩の理解と着実な色彩運用能力を高める。						
学習成果	L01						
	L02	色彩の基本的知識、技術を身につけ、アシスタント的業務につき、ある程度の自己判断をしながら、業務を遂行することができる。商品企画・デザインに関する業務であれば、商品色の原案を目的に沿って提示できる程度の色彩技術(スキル)を身につけることができる。					
	L03	販売関連業務であれば店頭で、色彩的視点から商品陳列、展示できる技能・技術をもち、接客では、個々のお客様に対し初歩的なカラーコーディネートアドバイスをすることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポート等提出物は速やかに講評し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:書き込み式 色彩検定 3 級 (学芸出版社) ※新配色カード 199a を購入すること 参考図書:色彩検定(文部科学省後援)公式テキスト3級編 (色彩検定協会)、色の辞典(西東社)、色の教科書(Gakken) 授業内でプリント配布						
履修上の留意点やルール等	●レポート等提出物の期限厳守 ●プリントを綴るファイルを用意すること。 ●日頃から色に関心をもち、積極的に授業参加すること。 ●材料費は自己負担 ●事前・事後に費やすべき時間の目安はおおむね各回 180 分						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	欠席・遅刻がなく意欲的に授業参加する。また、分かりにくい点があれば積極的に質問する。		10		
レポート/作品	与えられた課題の内容を適切に理解し表現できているか評価する。授業ノートを綴りごとに提出させ、理解度を測る。いずれも期限を過ぎた場合は減点する。		30		
発表					
小テスト					
試験	15 週目に実施。色の見え方、色の働き、色彩調和、色彩心理、色彩と生活、効果など、基本的なことが理解されているか、評価する。			60	
その他					
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 色の働き(誘目性、視認性、明視性、可読性、識別性)【課題】 生活の中の色彩、特にファッションと色彩について
	事前・事後学習	生活の中の色について、サインとしての色や自然の季節の色の変化に気づくこと。
2	授業内容	色の基礎知識① 色の分類と三属性(色相・明度・彩度とは) 色を感じるメカニズム等【課題ト】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
3	授業内容	色の基礎知識② 色の表記方法 色相環のしくみ 明度・彩度・トーンの種類【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
4	授業内容	色の見え方、感じ方① 色の心理効果、色の連想とイメージ【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
5	授業内容	色の見え方、感じ方② 色の視覚効果(対比と同化)【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
6	授業内容	色の見え方、感じ方③ 色の錯覚【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
7	授業内容	配色の基本技法① ファッションと色彩 ①イメージを表現する配色、自然な調和、流行色、まとまりのある配色、メリハリのある配色【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通・販売段階の色彩
8	授業内容	配色の基本技法② ファッションと色彩 ファッション産業における色彩を取り扱う姿勢 商品陳列と色彩、照明と色、コーディネートと色彩【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
9	授業内容	配色の基本技法③ 商品企画における色彩計画、カラーコンセプト【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
10	授業内容	慣用色名(日本の色)＝歴史に残る伝統色 ①かさね色目、陰陽五行と冠位十二階 きもの着装の色重ねや和食の配色などで確認する。【レポート】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
11	授業内容	慣用色名(日本の色)＝歴史に残る伝統色 ②ジャパンプルー、雅・粋・詫・寂・バサラ 日本人の感性と色は、豊かな自然から、歴史に残るこだわりの色となっていることを確認する。【レポート】 次時製作予定の作品の染色技法についての説明
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。 次時の作成のための材料準備や作品の構想を練る。
12	授業内容	カラー知識の活用 染色技法を学ぶ(ステンシル)【作品】
	事前・事後学習	事前に作品の構想を練る。
13	授業内容	生活環境と色彩 インテリア・エクステリア・プロダクツ・メディア 興味を引きつけ、楽しさを感じさせる色使い【課題】
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
14	授業内容	販売における色彩計画、VMDと色彩、ディスプレイやファッションへの応用【課題】 試験についての説明と復習
	事前・事後学習	プリントを完成させ提出する。繰り返し色彩検定問題を解く。
15	授業内容	パーソナルコーディネートと色彩 ①色・素材の質・形との関係 ②色が人に与える影響、カラーセラピーパーソナルカラー(似合う色、好きな色)を知る。【課題】 講義のまとめ、振り返り
	事前・事後学習	パーソナルカラー心理面への影響について考える。 講義プリントを見直して重要事項を再確認する。